



# 議会だより



## ◆ 第3回定例会の様子 ◆ (平成25年9月25日撮影)

### 主な内容

- 第3回定例会（主な議案内容）…………… 2
- 平成24年度決算概要及び主な質疑内容…………… 3
- 一般質問…………… 4
  - ・「農業センターの設置について」（日置 紳一 議員）
- 議員の派遣、中学生議会開催について…………… 5
- 議会の動き・編集後記…………… 6

今金町議会のホームページが開設されています！議会議事録等の閲覧ができますので、ご活用下さい。  
また、定例会、臨時会、各常任委員会の模様のDVDもお貸しできますので遠慮無く申し込みください。

第3回定例会は会期を9月25日～27日までの3日間と決め、町長行政報告のあと、1名の議員が一般質問を行い、各条例の制定及び平成25年度各会計補正予算、平成24年度各会計決算認定等を審議し、会期を2日残して終了しました。

平成25年

# 第3回定例会

## 主な議案の提案理由と結果

### ●今金町固定資産評価審査委員会委員の選任について（税務住民課）

平成25年10月16日をもって任期満了となる上野義則氏の再任について、議会の同意を求めるもの。（原案同意）

### ●今金町税条例の一部改正（税務住民課）

地方税法施行令の一部を改正する政令等が公布されたことに伴い本条例の一部を改正するもの。その概要は、町民税関係の①個人住民税の公的年金からの特別徴収制度の見直し。②公社債等及び株式等に係る所得に対する課税の見直し。③条例改正に係る条文の簡素化。（原案可決）

### ●今金町国民健康保険税の一部改正（保健福祉課）

地方税法施行令の一部を改正する政令等が公布されたことに伴い本条例の一部を改正するもの。その概要は、①公社債等及び株式等に係る所得に対する課税の見直し。②条例改正に係る条文の簡素化。（原案可決）

### ●今金町督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部改正（総務財政課）

平成25年3月30日に公布された地方税法の一部を改正する法律で延滞金の割合の特例の見直しが行われたことに伴い本条例の一部を改正するもの。（原案可決）

### ●北海道後期高齢者医療広域連合規約の変更について（総務財政課）

住民基本台帳法の一部改正に伴い、広域連合に対し構成市町村が負担する共通経費の人口割に係る規定を改める必要が生じたことから議会の議決を求めるもの。（原案可決）

### ●平成25年度各会計補正予算（各所管課）

一般会計は1億6,304万1千円を追加し、総額48億8,600万7千円、各特別会計は2,885万5千円を追加して総額を33億6,699万円としました。（原案可決）

### 「道州制導入に断固反対する意見書」

#### 可決

《要約》 効率性や経済性を優先し、地域の伝統や文化、郷土意識を無視してつくり上げる大規模な団体は、住民を置き去りにし、到底地方自治体と呼べるものではない。個々の自治体の活力を高めることが、全体としての国力の増強につながると確信し、強く反対することを求めたもの。

《送付先》 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、副総理大臣、内閣官房長官、総務大臣、あて。

### 「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保のための意見書」

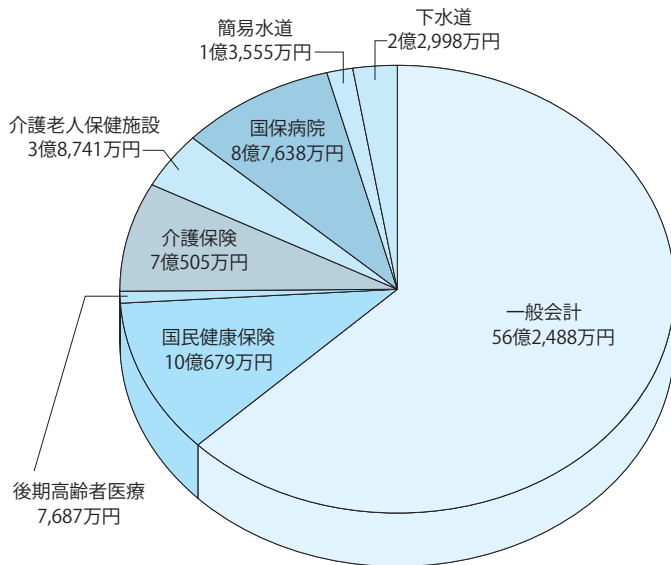
#### 可決

《要約》 国民を自然災害などの脅威から守り、二酸化炭素吸収源として最も重要な、森林の整備・保全等を推進する市町村の役割を踏まえて、「石油石炭税の特例」による税収の一定割合を、森林面積に応じて譲与する仕組みの構築を強く求めるもの。

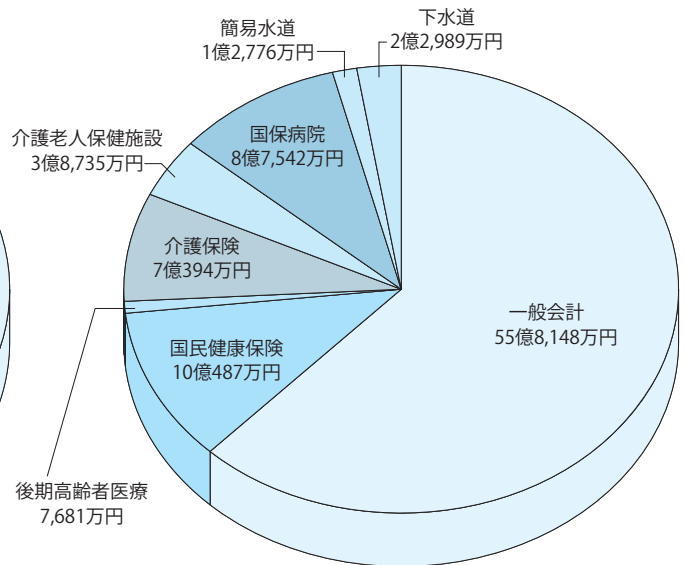
《送付先》 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、農林水産大臣、環境大臣、経済産業大臣、あて。

# 平成24年度決算 歳入総額 90億4,291万円 で認定 歳出総額 89億8,752万円

平成24年度各会計歳入決算額



平成24年度各会計歳出決算額



## 平成24年度 各会計歳入歳出決算審査報告・総評（一部抜粋）

当年度は、長引く景気低迷の影響や税収の減少などにより財源不足が見込まれたことから、当初予算において財源調整分として、財政調整基金523万円、減債基金1億2,487万4,000円、公共施設整備基金1億6,793万1,000円、備荒資金組合支消金1億円などを取り崩すこととして収支の均衡を図ったところですが、決算においては歳入で地方交付税、国庫・道支出金が増えたことに加え、歳出では単独費事業分を補助金などの有効活用を図るとともに、経費の削減などにより、結果的に基金の取り崩しは行わず、さらに基金の上積みをしたところであります。しかしながら、今後における景気の動向、高齢化や医療技術の高度化・専門化に加え、疾病の重篤化、医療費の高額化などによる、他会計への繰出しの増加が見込まれる厳しい状況にあることには変わりありません。今後、健全化による財政運営を確立するためには、職員一人ひとりが厳しい財政状況を再認識すると同時に、財源の積極的な確保と最小の経費で最大の効果を上げることを念頭に置き、前例踏襲にとらわれることなく事業効果の検証、安定的で持続可能な財政運営を確立し、政策事業を着実に実施することで、町民福祉の向上と活力ある町づくりに取り組まれるよう希望いたします。なお、今金町財務規則による物品の管理について、担当課において台帳整備が不備であることから、今後において整理に万全を期されたい。

今金町代表監査委員 天 井 幸 雄  
今金町監 査 委 員 山 本 豊

## 議会の視点・論点

### 第3回定例会での主な質疑の要約

- Q 美利可スキー場の運営が今季限りで終了するという方向性を示されましたが、その意向に相違はありませんか。  
A その考えに変わりありませんし、その方向で進めたいと思っています。(町長)
- Q 地上デジタル放送の視聴がまだできない地域や戸数はまだありますか。  
A 今回補正予算を計上した奥種川地区4世帯と宮島地区4世帯で全て視聴できる状況となりました。(まちづくり推進課)
- Q 看護師が数名辞められたと聞いていますが、夜勤等の影響は大丈夫なのでしょうか。  
A 現在までは、夜勤を3名体制で行っていましたが、9月から夜勤2名、待機看護師を2名配置する体制とし、何かあればすぐ対応できるようにしております。(国保病院)





日置 紳一 議員

**問** 農業センターの設置について

**答** 設立の場所となるセンターを担う主体がその実現のためには、民間です。

**日置議員** ご承知のとおり今金町では凡そ300戸の農家が約5千ヘクタールの農地を利用して農業生産を行っています。第5次今金町総合計画でも示されているように、担い手においても3分の1以上が高齢期に差し掛かり、本町農業の大きな課題となっています。高齢者等で生産意欲のある農業者が、営農を継続できるような農業支援組織の設置が求められています。農業センター

は、様々な機能を備えた施設として考えられますが、コントラクター事業、農地バンク、耕畜連携による土づくり事業、新規作物の試験・研究、その他にも野菜の産直施設や育苗施設も考えられます。特に野菜の育苗施設は近年、本町も苗を使う野菜の栽培がより盛んとなっていますし、軟白ネギの育苗施設においては大変老朽化しており、新しい施設が求められています。

また、光の里の利用者の皆さんや養護学校の卒業生の雇用の場として、更には新規就農者の研修の場として大変貴重な施設になると思います。農業振興の拠点施設としての農業センターの設立は、喫緊の課題として検討して行く必要があると考えますが、町長の所見をお伺いします。

**町長**

センターの設立検討の必要性は強く感じています。しかし、私が考える農業支援組織あるいは農業センター検討の前提としては、あくまでも民が主体となった方式こそ有効な事業展開ができるとの認識に立っています。この度実施した第7次農業振興計画のア

ンケート結果や部会・振興会からの聞き取り調査にも、施設を期待する声が出ており、関係団体や生産者等の設立意向がまとまる際は、町長としても、行政としての役割である、事務的な対応、関係機関との調整、補助制度を含めた財政支援に努めなければなりません。

そのため、何といっても生産者、受益者自身の事業・施設であるとして自ら関わり、どこまで、どのようにやりたいたいの意識を持つことが総ての基本と考えます。更には事業として成り立つための条件整備と安定運営にも、自己責任を持って立ち向かうといった意向をまとめることが、最初のステップと考えます。

**日置議員**

町長が想定する今金型(株)農業センターは、町長就任以来念頭にあり、心構えも出来ておりますので、実現への一翼を担って参りたいと思います。

**町長の想定する農業センターは、全てを網羅した大変素晴らしいものだと思いますが、最初から経営主体が株式会社ですと、設立までに相当時間が掛かると思いますが、絵に**

描いた餅で終わってしまう心配があります。

私は農業センターも町の農業振興の一つだと思っておりますので、官が主体でやるべきだと思っております。センターそのもので採算が取れるとは思いませんので、民でやることにならないのではと考えます。ちなみに隣の町も、町が主体で運営していると聞いています。

私は農協にも応分の負担をしていただいて、町と農協が出資、設立し、資金がかららず、雇用が生まれるところから始めるのがベストだと考えます。

企業誘致も難しい今日、雇用を生み出す施設に税金を使うことになっても私は町民の皆さんの理解を得られるのではと考えますがいかがですか。

**町長**

行政の責任で解決しなければならぬことは様々なわけでありますが、この区別をしっかりとすることが、政策、課題を設定していく上で重要であると考えます。

今回の件に関しては、企業や商業の方々が主体的に行う

べき事業ではないかと考えます。町で公社等を作ると、町内だけに限定されてしまいます。これからはそういう時代ではなく、いいものは売れるのですから、販売を目安に隣町や近隣に営業として出て、受益したものを生産者に返し、新しいものに取組んでいくという可能性が大いにあると思います。個々で行っている様々な事業を総合的に複合的に行う視点が大事であり、農業関係団体のプロジェクトがありますので、その中でも声を上げていきたいと思えます。

**日置議員**

この農業センター実現のためには町長が先導を取らないと進まないと考えますが、いかがですか。

**町長**

施設については、町で財政的支援はとれる可能性があると思います。重要なのは情報を伝え、事業として成り立つような仕組み作りをすることが必要であり、情報を早く的確に出していく取組を行って参りたいと思います。

## 議員の派遣について承認されました。

### 1. 議員定数等調査特別委員会行政視察

#### (1) 視察研修地

①空知管内月形町 / 議員定数と常任委員会の在り方について

②北海道町村議長会 / 政務活動費の取り組み、公聴会制度・参考人制度の手続き等について

(2) 視察時期 平成25年10月31日、11月1日(2日間)

(3) 派遣議員 全議員(12名)

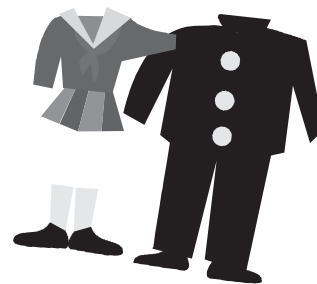
## 今金中学校3年生による 中学生議会が開催されます！！

未来の社会を担い将来への夢や目標を持ち、創造性に富んだ社会人に育っていくための地域ぐるみの取り組みの中で、議会の役割として、議会の仕組みを学び将来のまちづくりへの意見、提言を發表することで「共に考え共に学ぶ」場として、開催することを目的としています。

○開催日 平成25年11月19日(火)  
午後1時30分～午後3時20分を予定

○場所 議場

○運営方法 中学生から議長、副議長、質問者6名が選出され、進行及び質問を行い、議員が答弁する形式で行います。  
開催前にはチラシ等でお知らせいたします。



## 総務厚生常任委員会実態調査

調査日：7月9日(火)午前9時00分～

視察箇所等：消防救急活動、美利河生活館、今金消防署花石分遣所、町有施設管理状況(寒昇地区)・災害備蓄品管理状況、障がい者支援施設ひかりの里改築状況、神丘構造改善センター、グループホームすえひろ「温」、豊寿園について視察しました。



消防で救急活動の様子を受けている様子を説明を

## 産業教育常任委員会実態調査

町道花里線、崩落個所の様子



調査日：7月23日(火)午前9時00分～

視察箇所等：水稻奨励品種決定地圃場(八束)、乾田(鈴金：仁木地先)、森林管理道光台・鈴岡線開設工事進捗状況、町道花里線崩落個所の状況、学童保育所、町道中央線工事進捗状況、総合体育館前倉庫及び周辺駐車場整備状況、大和公園、車両格納庫について視察しました。

# 議会の動き

## 7月

- 4日 林活促進議員連盟連絡会議・合同役員会（札幌市）
- 5日 第2回議員定数等調査特別委員会  
議員の森草刈
- 7日 今金消防団総合演習
- 9日 総務厚生常任委員会所管事務調査
- 10日 総務厚生常任委員会所管事務調査まとめ
- 11日 今金地区敬老会
- 12日 北海道南西沖地震災害奥尻島20周年追悼式（奥尻町・13日まで）
- 13日 第5回光の里ミニレクリエーション大会
- 14日 町民体育祭
- 18日 道南林活議連現地研修会（上ノ国町）
- 19日 第49回今金町畜産共進会  
北海道消防操法訓練大会（江別市）
- 23日 産業教育常任委員会所管事務調査
- 24日 産業教育常任委員会所管事務調査まとめ  
広報発行常任委員会
- 25日 T P P 交渉即時脱退北海道総決起大会（札幌市）
- 28日 ピリカまつり

## 8月

- 1日 国際国内交流事業N Z 派遣事業壮行会
- 2日 第3回議員定数等調査特別委員会
- 3日 豊寿園ふれ愛まつり
- 5日 合同委員会
- 6日 国営緊急農地再編整備事業中央要請（東京都・8日まで）
- 13日 今金町成人祭
- 15日 今金町戦没者追悼式
- 17日 種川連合自治会敬老会
- 18日 檜山P T A 研究大会
- 19日 全道議会公報研修会（札幌市）
- 25日 陸上自衛隊函館駐屯地創立記念式典（函館市）
- 26日 檜山議長会・渡島檜山町村議長会連絡会議（江差町）
- 28日 第3回今金町農林業振興会議
- 30日 自衛隊今金地域事務所開所式

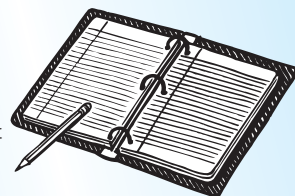
## 9月

- 4日 全道林活議連連絡会（札幌市）
- 7日 ピリカ旧石器文化館十周年式典
- 12日 総務厚生常任委員会
- 13日 産業教育常任委員会
- 17日 議会運営委員会
- 18日 合同委員会
- 19日 今金町八幡宮宵宮祭
- 20日 今金町八幡宮本祭
- 21日 今金町八幡宮後祭
- 24日 伊達忠一政経セミナー（札幌市）
- 25日 第3回定例会
- 27日 清水誠一政経セミナー（札幌市）

※それぞれの行事に議員が出席しており、主なものを掲載しております。

## 平成25年度全道町村議会 広報研修会に出席

平成25年8月20日、京王プラザホテル札幌で表記研修会が開催され、広報常任委員5名全員が出席しました。講師は山梨県身延町で議会議員を6期務め、議会広報の提唱された深沢 徹氏で、現在は広報コンサルタントとして活躍されています。広報紙の表現方法や表題等での見せ方や、作成する上の注意点などの講義を聞き、実際の広報紙をクリニックしながら改善点などを具体的に示しながらの研修となりました。



## 議会・委員会を傍聴しましょう！

役場1階ホールでもライブ中継をご覧ください。

議会では、定例会と各常任委員会も原則公開しておりますので、是非傍聴してください。

※日程等は事務局にご確認ください。

※年4回開催の定例会が近くなりましたら、新聞折り込み等でもお知らせいたします。

## これまでの議会の状況もご覧ください！

ライブ中継を開始した平成19年9月からの定例会・臨時会、各常任委員会の模様をDVDでご覧いただけます。

DVDをお貸しすることも可能ですので、議会事務局まで遠慮なく申し込みください。

## 編集後記

来年の4月から消費税が増税されること、それに對する景気対策も打ち出すことを安部総理から発表がありました。これにより、家・マンションや自動車等大きな買い物も前倒しする方が増え、一部の業界では皮肉にも景気が好転しているという報道も目にしますが、社会保障のための増税でありますので、国民目線の対応を忘れないでほしいと願います。

山々をみると、ちらほらと赤く色付き始めてまいりました。今年は冬の到来が早まるといった予報も出てくるようですが、あまり雪が多くないことを願うばかりです。

広報発行常任委員会

委員	加藤 三 明
委員	川上 絹 子
委員	山崎 仁
委員	村本 照 光
委員	日置 紳 一

